

第 24 期日本学術会議健康・生活科学委員会少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会  
第 6 回議事録（概要版）

開催日程：2020 年 2 月 10 日（月）13：00～14：30

場所：日本学術会議 5F 5-C（1）会議室

出席者：小松、井上、正木、永瀬、西村（議事録）

欠席：寶金、岩崎、川口（順不同、敬称略）

資料

- ① 第 24 期日本学術会議健康・生活科学委員会ケアサイエンス分科会第 5 回議事録（概要版）
- ② 第 24 期日本学術会議健康・生活科学委員会ケアサイエンス分科会第 5 回議事録（詳細版）
- ③ 提言（案）

【看護学分科会：議題】

（1）提言について

小松委員長から、ケアサイエンス分科会で作成した提言（案）を、健康・生活科学委員会と臨床医学委員会の両方に送って審査を受けている段階であることが報告された。

資料 11 頁からが提言であり、永瀬委員からのコメントを受けて修正したものである。

以上の説明を受けて、以下の議論がなされた。

- ・ケア共同社会においては、共同体の自助、共助、公助のメカニズムを考えていくことが重要である。
- ・ケアサイエンスを活かすことで、共同体の持続可能性にどのように関与できるのかを加筆する。
- ・公平というあり方については、今現在、公平にケアサービスが提供できているわけではないため、新たな仕組みが必要と考える。
- ・これから増大する高齢者介護について、ケアサイエンスを活かすと、どのように経済的な刺激を与えられるのかについて、今後も検討をするなどを記載してもよい。
- ・「国家資格」にかかわる記述は、「保健医療システム」とする。
- ・医療・福祉に関する表記は、「保健医療福祉」という表現を検討する。

（2）今後の進め方

小松委員長より、ケアサイエンスについてまとめた成書を社会に出して行く方針が提案された。ケアサイエンスの考え方を総論とし、各論については、各学問分野から新しいケアサイエンスとしての展望を提案してもらおう。多様な専門分野から新たな執筆者を募って成書企画を立てることが提案された。多様な学術分野に広く届く出版元を検討する。

次回の分科会 2020 年 3 月 23 日（月）15：00～17：00